

PDT-EPR と USB-PDT 比較

新設計の理由

USB-IFは電力供給仕様に新しい要件を導入しました。これには、PD製品のより高い電圧と電力レベルが含まれます。従って、そのような製品のテスターはこれらの新しい電力機能をカバーできる必要があります。

必要な変更の詳細

基本的にテスターは以前の20Vではなく最大48Vの電圧を提供する必要があり、負荷テストでは以前の100Wではなく240Wをシンクする必要があります。

これには3つの新しいPCB、新しい高電力の外部電源、新しい高電圧のテスト・ケーブル、及び、より効率的な冷却装置を含むUSB-PDTの再設計が必要でした。

2022年2月以降は、コンプライアンス要件を満たすためにより高い機能を備えたテスターを使用する必要があります。より高い電圧を実装していないUUTでさえ新しいテスター仕様でテストする必要があります。

PDT-EPR と USB-PDT 比較表

機能	USB-PDT	PDT-EPR	コメント
VBUS ジェネレーター電圧範囲	3V-20V	3V-48V	
VBUS 設定可能電流制限	No	1A – 5A	PPSソースとしてのテスター
電流シンク	0 – 5A 100W	0 – 5A 240W	
プロトコル	SPR のみ	EPR と SPR	
VBUS 電圧測定範囲	0V – 21V	0V – 55V	
冷却装置	100W Capable	240W Capable	
テスト・ケーブル	Custom 20V/5A Cable	Custom 50V/5A Cable	
外部電源供給	24V/8.3A	24V/13.75A	

注文コード

既存のユニットをアップグレードできるように新しい機能を既存のボックス・サイズに収容できるように調整しました。次の表に可能なアップグレード方法を示します。

オーダー・コード	説明
PDT-EPR	BT3, 及び、CTSソフトウェアの永続的な登録を含むEPRをサポートする完全な電力供給コンプライアンス・テスター
PDT-EPR-UPGD-CTS	CTSソフトウェアの永続的な登録を含むEPRをサポートするための既存のUSB-PDTのアップグレード。BT3は含まれません。
PDT-EPR-UPGD	CTSソフトウェアの永続的な登録を既にお持ちのお客様がEPRをサポートするための既存のUSB-PDTのアップグレード。BT3は含まれません。